

ビューティードア 株式会社

「健康寿命100年」 歯と肌の悩みに着目した化粧品開発

事業内容

独自材料を使った化粧品の開発

大手OEM（相手先ブランド生産）メーカーで化粧品開発を手がけた藤田百合子社長が、平成18年に創業したベンチャー企業。化粧品をOEMする一方で、自社商品の開発にも力を入れる。歯を本来の白さに戻すことを目的に世界で初めて酸化タングステンを配合した高機能歯磨き粉や、地元の日本酒「千利休」の酒かすで作ったオールインワン美容液ローションなど、独自商品を多数展開。どれも大々的な広告を打たないにもかかわらず、口コミを中心にヒットしている。

確かな品質で人気博す

顧客からの問い合わせや要望をヒントに研究開発を重ね、確かな品質で消費者からの信頼を得てきた。ヒト型セラミドを含む高保湿美容液「ピュアセラ美容液オイル」も、その高い品質から口コミに火がついた商品の一つ。「化粧ノリが良くなる」と主に30-40代の女性に人気となり、毎月数千本を生産するまでになった。

補助事業

手作業による品質維持の難しさ

化粧品がヒットし注文が増える一方、製品のキャップ締め工程で不良が発生。生産量の増加に従業員が対応しきれず、キャップの締め付け不足などで顧客からクレームが出てしまった。従来キャップ締めの工程は手作業で行っていたため、作業者によっては締め具合にムラが出ることも。また一人で1日に数百個のキャップ締めをする日もあり、けんしょう炎や肩の痛みを訴える従業員も出始めた。この状況に危機感を覚え、工程の機械化を検討した。

品質向上のため半自動キャッパー機を導入

品質の向上と職場環境の改善を喫緊の課題とみて、製造ラインにエアトルク方式の締め付けキャッパー機を導入。キャッパー機は一定の力でキャップ締めができるため、締め付け具合のムラを防げるほか、生産スピードも速い。美容液オイルだけでなく、他の商品の製造にも対応可能なヒロサワ機械（株）（大阪市北区）の半自動キャッパー機を導入した。

ビューティードア 株式会社

代表取締役 藤田 百合子
 〒590-0007 堺市堺区北庄町2-2-22 BDアビル
 TEL. 072-256-4596 FAX. 072-256-4597
 資本金/1,000千円 従業員/5名
 主な取引先/グランメイト(株)、富士フィルム(株)、
 (株) Genuine R&D
 主な保有設備/攪拌機、ホモミキサー、PHメーター、粘度計、
 キャッパー機器、トンネルシュリンク機器、
 自動ラベラー機器
 主力製品/ホワイトブラッシュ、ホワイトブラッシュ
 VCエッセンスローション

短期間 企画力 小ロット OK オナーン価 生産 OK 海外対応 試作 OK 連携力

顧客の悩みに応える商品づくりを

代表取締役 藤田 百合子

独自の原料抽出から製造までを一貫して行えることが当社の強みです。今後もお客さまの「お悩み」に応えるニッチな商品を作って参ります。



<http://beautydoor.jp/>



キャップ締め工程を自動化



「ピュアセラ
美容液オイル」



「ホワイトフラッシュ」

具体的成果

生産能力が倍増

キャッパー機の導入により商品の品質が向上し、顧客からのクレームや返品がなくなった。また、力のいる手作業がなくなったことで従業員が不調を訴えることも減ったという。同社の従業員は少ない人数で開発から製造、梱包までをマルチにこなすため、キャップ締め工程の効率化は業務全体に嬉しい効果をもたらしている。従業員の残業が減り、社長が掲げる「従業員の物心両面の幸せ」を実感できるようになった。また製造効率が上がり、月1,000本だった美容液オイルの生産量は導入後2,000本に増加。3,000本生産する月もある。

多品種生産が可能に

キャッパー機の導入に合わせ、商品にラベルを自動で貼り付けするラベリングマシンも購入。製造体制を整備することで、美容液以外にも多数の品種を生産することが可能になった。それまで同社では3,000本以下の極小ロットの商品にのみ対応しており、製造量に限界があったが、設備の拡充で5,000本程度まで製造可能に。今まで協力工場に依頼していた商品も自社で製造できるようになり、品質管理や輸送にかかる手間やコストが省けるようになった。

今後の戦略

強みのオーラルケア商品を展開

小ロット多品種生産の開発に力を入れる一方、主力の高機能歯磨き粉「ホワイトフラッシュ」の展開にも力を入れる。同製品は光触媒を含む歯磨き粉。歯を磨いたあと、LEDなどの光に当てることで汚れを分解し、歯が持つ本来の白さを取り戻すことができる。一般消費者向けにインターネットなどで販売していたが、歯の着色除去や歯ぐきのマッサージを行う「オーラルエステ」が普及し始めたのを機に専用品を開発。全国のセルフオーラルエステ取扱店に、光触媒のオーラルケア商品を売り込む考えだ。

ニッチ分野へ新規事業展開、工場拡張も

「健康寿命100年」をキーワードに、新規事業も次々展開する。現在は、透析患者のテープかぶれ対策からヒントを得た保湿ジェルや、女性の下半身のにおいに特化したケア用品、自動ネイルアート機の基剤などを開発中。消費者目線の“困りごと”に対応したニッチ分野の開拓にも力を入れる。

取扱品目や生産量の増加とともに現在の製造場所が手狭になってきたため、工場の移転も検討中だ。今回の設備拡張を機に「次のステージへ進みたい」との思いを強くする。

取材を終えて

コスメおたくから開発者へ

藤田社長自身がミスコンテスト受賞経験を持つなど、生粋の化粧品好き。商品への思い入れが強いからこそ、品質向上にたゆまぬ努力を続けるのだろう。今回の設備導入からも、メーカーとしての責任感の強さや品質への誇りが感じられた。今後も世の中になかった商品を開発し続けてほしい。